

保険薬局による吸入指導の効果に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2025 年 8 月 1 日 ～ 2026 年 12 月 31 日

〔研究課題〕

保険薬局における吸入指導のチェックリスト方式トレーニングレポートの有効性に関する検討

〔研究目的〕

保険薬局において吸入薬の使用方法を説明し、医師と薬剤師間で情報共有を行うことが薬の適正使用に繋がるとは、これまでの研究で報告されています。また、過去の研究では、吸入薬を使用する患者さんの半数以上が正しい使用方法を守れていないことが示されています。これまでの情報共有は主に医師主導で行われてきましたが、今回、薬剤師主導の情報共有でも同様の効果が得られるかどうかを、過去のデータを用いて検証したいと考えています。

〔研究意義〕

薬剤師主導の情報共有が有効であれば、医師と薬剤師が相互に判断して情報共有を行う体制が整い、より多くの患者さんが吸入薬を正しく使用できるようになります。その結果、吸入薬が治療に有効とされる気管支喘息や COPD の治療成績向上が期待されます。

〔対象・研究方法〕

当院ではすでに保険薬局とファックスを介して患者さんの薬に関する情報を共有しています(このやり取りを行う文書がトレーニングレポートと呼ばれます。より良い医療を患者さんに提供する目的で活発な情報交換を行うことを国が推奨しています)。本研究では、2021 年 8 月から 2024 年 8 月までのデータを対象に、吸入薬に関する情報を抽出し、どのような内容が共有されたかを解析します。特に、薬剤師が誤った吸入方法を行っている患者さんを発見し、正しい使用方法を指導できたかに注目して分析をする予定です。

〔研究機関名〕

帝京大学医学部附属病院薬剤部

〔個人情報の取り扱い〕

本調査は、個人情報の取り扱いを含めその実施にあたっては帝京大学の倫理委員会の審査を受けております。また、データは ID 化され、統計的に処理しますので、調査の集計や学会発表等にあたっては個人が特定されることは絶対にありません。データの管理、保管は厳重に行い、研究終了後は、データおよび資料は 10 年間保管の後すべて廃棄します。

対象となる患者様で、データの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者:氏名 前田光平 職名:係員

研究分担者:氏名 安野伸浩 職名:部長

所属: 帝京大学医学部附属病院薬剤部

住所:東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL:03-3964-1211 (代表)〔内線 7806 〕